

旧晴海鉄道橋耐震補強工事

1 施工箇所



2 工事概要

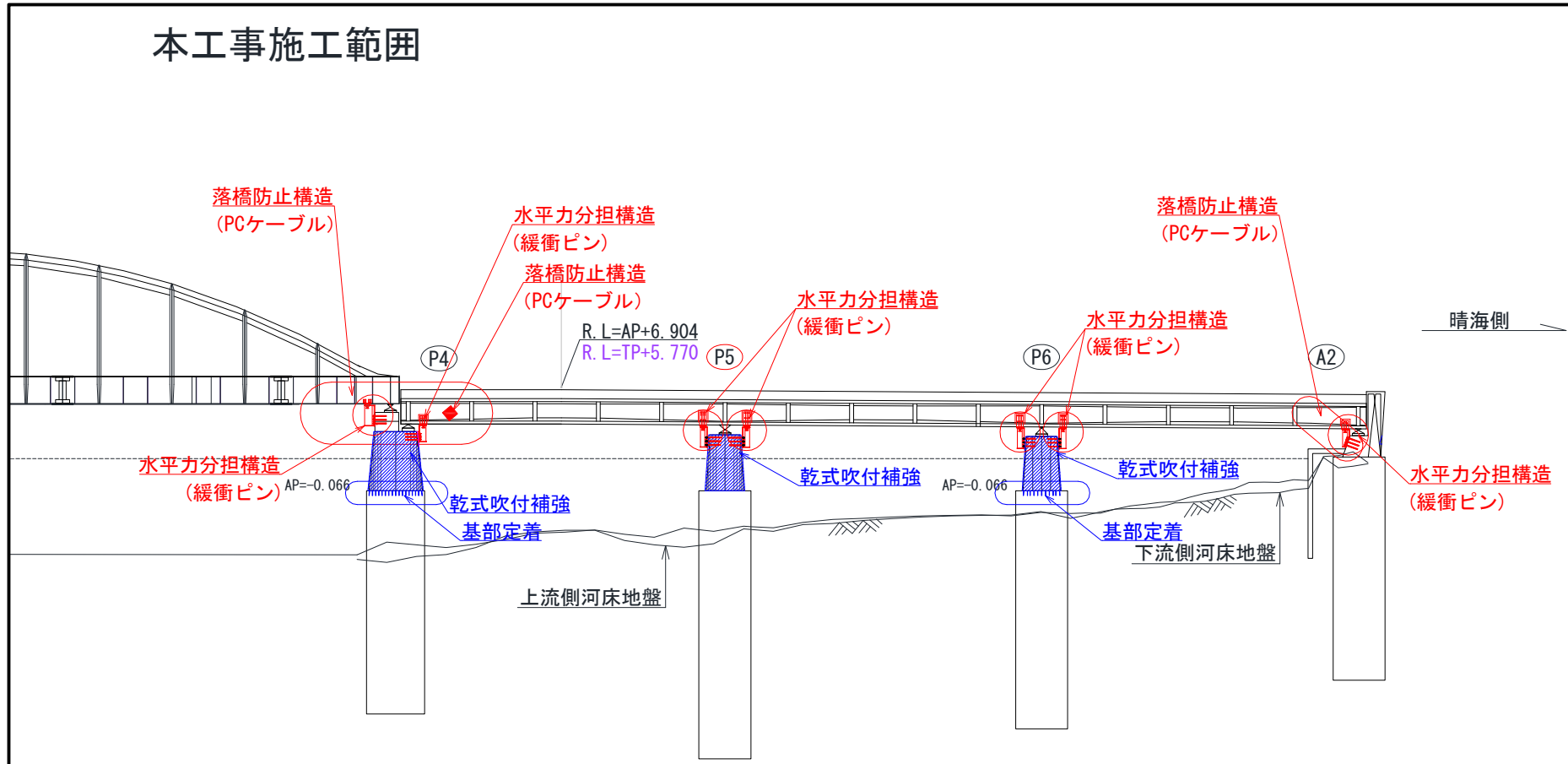
- ◆ 工事件名
令和2年度旧晴海鉄道橋耐震補強工事
令和3年度旧晴海鉄道橋(豊洲側)耐震補強工事
- ◆ 施工箇所
中央区晴海二丁目地先、江東区豊洲二丁目地先
- ◆ 工期
令和3年2月 ~ 令和4年6月(R2d工事)
令和4年1月 ~ 令和5年2月(R3d工事)
- ◆ 問い合わせ先
担当部署: 東京港建設事務所港湾整備課
道路整備担当
連絡先: 03-5500-2529

3 工事の目的

- 旧晴海鉄道橋に必要な耐震性、耐久性の確保
- 大規模地震に対して倒壊防ぐための橋脚部の補強、及び落橋を防止するための装置の設置
- 運河部の横断橋としての耐久性を担保する補修

旧晴海鉄道橋耐震補強工事

4 完成イメージ (令和2年度工事)



※令和3年度工事は、豊洲側(A1、P1、P2、P3)において、令和2年度工事と同様の工種を施工

青字: 大規模地震時に倒壊を防ぐための補強

赤字: 大規模地震時に落橋を防ぐための装置の設置

旧晴海鉄道橋耐震補強工事

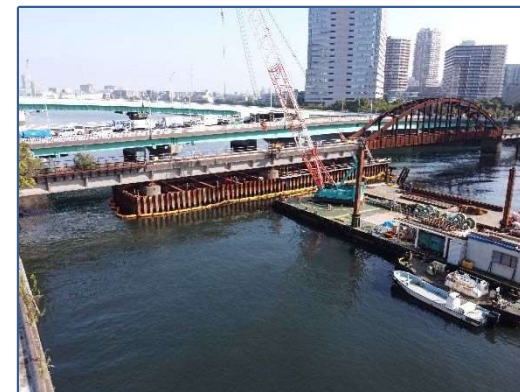
5 工事写真



着工前
令和3年4月



矢板打設工
令和3年8月



矢板打設完了
令和3年10月



コンクリート表面処理完了
令和3年10月



鉄筋組立完了
令和3年12月



橋脚補強工（乾式吹付完了）
令和4年1月

旧晴海鉄道橋の遊歩道化（豊洲～春海橋公園～晴海 水辺の連続性）

令和3年12月1日

東京都港湾局

■旧晴海鉄道橋の概要

- 橋長：190.3m 幅員：3.8m
 - 設置経緯：臨港鉄道東京都専用線の晴海線開設に伴い架設
 - 使用期間：昭和32年(1957年)から平成元年(1989年)まで
 - 事業主体：東京都港湾局 建設工事：旧国鉄（委託事業）
 - 現状：平成元年の晴海線廃止以降、閉鎖管理
- ※ 歴史的鉄道遺構：鉄道橋として、日本初のローゼ橋及び連続PC桁



出典：（一社）東京都港湾振興協会

■整備内容

有識者等の意見を踏まえながら、本橋の歴史的な価値を残しつつ遊歩道化

- 下部工：地震による橋の倒壊を防ぐため、耐震補強を実施
- 上部工：部材補強や塗装塗り替え等の橋梁補修を実施
- 遊歩道：本橋の歴史的な価値を残しつつ、バリアフリーにも配慮した魅力的な歩道整備を実施（レールを歩道部分に埋めて活用）

■施設管理

春海橋公園の公園施設として一体的に管理運営

■スケジュール（予定）

- 令和3年2月～令和3年度：下部工耐震補強（晴海側）
- 令和3年度～令和4年度：下部工耐震補強（豊洲側）
- 令和4年度～令和7年度：上部工及び遊歩道整備



現状のイメージパース

※今後の検討で変更になることがあります